

「笑顔あふれ、たくましく生きる子どもの育成」 ～笑顔いっぱい カいっばいの、学校づくりを通して～

確かな学力を目ざして

○わかりやすい学習への工夫

わかる嬉しさ（基礎学力の定着）、できる喜び（思考、判断、表現）、関わり合う楽しさ（学びに向かう力、人間性）が実感できる授業を推進します。

- ・ICT機器（タブレット、書画カメラ、大型テレビ等）の日常的な活用を進めます。
- ・双方向による学び合い、深め合う協働学習を推進します。
- ・教科担任制の強みを発揮した学習指導を充実させます。

○授業を支える土台づくり

- ・学習規律や学びを深める『吉小スタンダード』を定着します。
- ・話し合いや関わり合いを深める教師支援を充実します。
- ・小中一貫教育を見通した学習指導を工夫します。

○学習習慣の定着

学年に応じた課題を設定し、家庭学習の取り組み方のガイダンスを実施することで、家庭学習の習慣の定着を図ります。

豊かな心を目ざして

○『時を守り、場を清め、礼をただす』

礼儀やルールを身につけ、規律ある学校生活を送ることで社会性を育みます。

- 時計を見て行動できる子
- 身のまわりの整理整頓ができる子
- さわやかな挨拶のできる子

○読書活動の推進

読書習慣の定着を目ざし、知識だけでなく心情面も育てます。

- ・本が好きになる環境づくりに取り組みます。
- ・本に触れる時間や場を設定します。

○歌声活動の推進

「歌声」を核に、行事・児童会などの特別活動等を通して、心に響く感動体験を味わわせる活動を実施します。

- ・コロナ過でもできる歌声活動を工夫し、歌を取り入れた教育活動と全校や学年での歌声集会の開催を目ざします。

【目ざす子どもの姿】

◇自ら学ぶ子（知）

自分のなすべき目標をもって、主体的に学習や活動に取り組む前向きな子

◇思いやりのある子（徳）

他者を理解し、協同する心の広い子

◇たくましい子（体）

困難を乗り越え、努力を続けるたくましい子

健康・安全への意識の高揚を目ざして

○子どもたちの心と体の健康づくり

- 健康推進教育を通して、笑顔あふれる子どもを育てます。
- ・委員会活動の中で、子どもどうしが関わる双方向の取り組みを企画します。
- ・子どもたちが健康に関心を持ち、自ら運動に取り組むようになる環境づくりをすすめます。

○体力の向上

- 運動能力を高める継続的な取り組みを推進します。
- ・体育の授業の成果を発表し、成果を確認・実感できる体育的行事を企画・開催します。
- ・運動への意識を高める活動を、委員会活動を通して発信します

○安全への意識の高揚

- 学校教育活動全般を通して系統的、横断的に健康、安全の指導をすすめます。
- ・命を大切にする教育活動を積極的にすすめ、自分の命、友達の命を大切にする心を育てます。
- ・子どもたちの危機意識を育み、実践力を高めます。

家庭や地域とともに子どもを育てる

○全職員で全校児童を見守り、育てる体制

- 子ども一人一人の実態をとらえ、一人一人にあった指導体制、支援体制を確立し、全職員で全校児童を育てます。
- ・教科担任制の強みを生かし、全職員で子どもを見守ります。

○いじめの根絶

- 全職員、家庭、地域が連携し、協力して子どもを見守ります。
- ・SNSなど、ネットによるいじめの被害者や加害者にならないように、情報モラル教育を計画的に実施します。
- ・他者を思いやる心を育てる学級活動や道徳授業を実施します。

○家庭・地域とともに育てる教育活動

- 保護者や地域の方とのつながりを子どもたちに啓発します。
- ・家庭や地域の方に見守られていることへの感謝を伝えます。

3大プロジェクトの推進

○美しい歌声

○しっかり運動

○本を読もう

安全・安心な学校づくり

○危機管理

- ・危険を予見し、未然防止を意識した危機管理を行います。特に身体面では首から上のけがに留意します。(救急車要請をためらわない)
- ・心と体の健康の関連に気づき、自らの命を大切にするとともに、他者を思いやる心を育てる教育活動を推進します。
- ・自ら安全について考え、危機を回避できる子を育てます。

○早期発見・対応

- ・「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で子どもたちを見守ります。
- ・毎月のアンケート等で実態を把握し、児童支援について共通理解を図り、いじめ、不登校等の未然防止に努めます。
- ・教科担任制の強みを生かして、全教職員で全校児童を見守り、育てます。

○家庭・地域との連携

- ・子ども見守り隊や老人会の見守り活動、PTA挨拶立ち番等、学校と家庭や地域とつながりを大切にします。
- ・保護者や地域の方に学校行事などへ積極的に参加していただき、地域の教育力を生かして子どもを育てます。
- ・家庭や地域への情報発信を積極的に行い、信頼関係の構築に努めます。